

愛荘町における地域学校協働活動の取組

[取組状況] ■地域学校協働本部 □地域未来塾 □放課後子ども教室 □土曜日の教育支援

■目指す姿

- ・愛荘町と学校園・子どもの協働活動により、愛荘町教育のさらなる発展・充実を図る。
- ・地域学校協働活動を通して子どもと地域住民のつながり・絆が強まり、地域教育力の向上をめざす。
- ・地域住民にとって自らの学びの成果を活かす場の拡充となり、地域全体で未来の愛荘町を担う子どもたちの成長を支える取組の充実を目指している。

■本年度の具体的活動

(1)「愛荘町コミュニティ・スクール推進構想図」の提示と共通理解

R7地域学校協働活動推進の3点について校園長、地域連携担当教員、地域学校協働活動推進員へ年度当初に提示した。

1. 子どもと地域住民の協働活動の推進…地域住民や地域の特色を活かした実践
2. 主体的・対話的で深い学びによる学習過程の改善…アクティブ・ラーニングの推進
3. 地域学校協働活動推進員が学校園と地域をつなぐ…学校園のニーズと地域の声の集約

(2)コミュニティ・スクール推進実行委員会

実行委員は8人の校園長を核に構成、学校園運営協議会と地域学校協働活動の現状・課題の交流

- ・6月3日:各校園のR6学運協の取組成果、R7具体的取組の交流
- ・1月29日:次年度CS推進の取組重点の確認

(3)地域学校推進部会<地域学校協働活動推進員+地域連携教員>

- ・第1回(5月)と第3回(11月)は全員で
- ・第2回推進部会として校種別に先進地に学ぶ研修会を実施

8月20日 野洲市立中主幼稚園

8月22日 東近江市立蒲生東小学校

11月25日 草津市立高穂中学校

(4)地域学校協働活動推進員連絡会

- ・3回開催(6月、10月、2月)
- ・各校園の地域学校協働活動の取組交流と質問タイム

(5)各学校園運営協議会へ町教委CS担当が同席

- ・各校園で年3~5回開催の学校園運営協議会に参加し、CS取組状況の把握と助言



【 地域の人と藁筆づくりをする小学生 】



【 国スポの炬火を火起こしする中学生 】

■本年度の力点(成果)

- 昨年度から学校園運営協議会の取組を核とする「CS推進実行委員会」が進み、各校園の学運協委員が実働メンバーとなった具体的活動により各校園のCSが前進した。
- 推進部会と推進員連絡会において、特色ある地域学校協働活動が交流できた。自校園の取組を楽しく報告し、他校園の取組を活かそうと熱く尋ねる時間が取れた。
- 「CSだより」を地域に発信する取組や「ボランティア・ルーム」における子どもと地域住民のつながる場が子どもたちを元気にしている。

■今後の連携・協働活動の推進に向けて

○R8CS取組の方向性を次の3点と想定している。

- ・CS推進のビジョン(具体的行動目標)設定において、子どもにつけたい力の明確化。
- ・学校園管理計画にCS推進の構想や方策を明記し、職員間の連携体制を強化。
- ・子どもの主体性・協働の力をつけるアクティブ・ラーニングの推進。

○地域学校協働活動推進員が学校園と地域のパイプ役に。

- ・推進員の定期的な出務により、社会に開かれた教育課程と放課後の居場所づくりを応援。
- ・教職員のニーズと地域文化・人材をつなぐ役割と校園長とのCS目標の共有。

■地域学校協働活動推進員の委嘱状況

○町内校園2幼稚園、4小学校、2中学校すべての校園で地域学校協働活動推進員を委嘱している。

■町内の学校園運営協議会の導入状況および計画

○すべての校園において学校園運営協議会を設置し、年3~5回学運協を開催している。